

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第三中学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

中学校第3学年、全生徒

実施生徒数(204 人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び数学。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「生徒アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布は全国の状態とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層から下位層の分布が多い。

平均正答率(本校 68/泉佐野市 75/大阪府 75/全国 77.4)

「B区分問題」

- ・平均正答率の全体的な分布は全国の状態とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層から下位層の分布が多い。

平均正答率(本校 57/泉佐野市 67/大阪府 69/全国 72.2)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語 A	特徴がみられた設問
【読むこと】 ○目的に応じて資料を効果的に活用して話すことは概ねできている。 2ー スピーチをよりわかりやすくするためにイラストを提示する箇所として適切なものを選択する。(80.8/87.8) ○相手にわかりやすいように語句を選択して話すことには課題がある。 7ー 先生から必要な情報をもらうために適した発言に直す。(47.0/54.0) ○話すための材料を人との交流を通して集めることには課題がある。 7二 結論にたどり着いた理由として適切なものを選択する。(66.2/80.4) 【書くこと】 ○書いた文章を読み返し、語句の使い方を工夫して書くことには課題がある。 3ー それまで頑張ってきた様子が読み手に伝わるように書き直す。(72.2/86.0) ○書いた文章についての助言を基に、自分の表現を見直すことには課題がある。 3二 一文を書き加える際に参考にした助言として適切なものを選択する。(66.2/84.3) ○文章の構成を工夫して分かりやすく書くことには課題がある。 5ー 〈立候補者から〉の欄の書き方を説明したものとして適切なものを選択する。(63.6/79.8) 5二 〈推薦者から〉の欄に書き加える具体的に使う情報として適切なものを選択する。(82.3/92.7)	【読むこと】 ○場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解することには課題がある。 6二 「どれもこれも仁王を蔵しているのはなかった」の意味として適切なものを選択する。(44.9/60.1) 【伝統的な言語文化・国語の特質に関すること】 ○文脈に即して漢字を正しく書くことには課題がある。 9二 漢字を書く(雨で運動会がエンキになる)(47.5/62.3) ○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。 9二1 漢字を読む(覚悟を決める)(97.5/98.7) 9二2 漢字を読む(鮮やかな色合い)(84.3/94.5) 9二3 漢字を読む(水が垂れる)(90.9/94.3) ○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことは概ねできている。 9三エ 適切な語句を選択する(私は映画が大好きです。ただし、映画何でも見るわけではありません。)(91.9/95.5) 9三オ 適切な語句を選択する(チームの勝利を確信する。)(87.4/94.2) ○助詞の働きについて理解することは概ねできている 9四 言い直した意図として適切なものを選択する。(82.8/91.6) ○事象や行為などを表す多様な語句について理解することには課題がある。 9五 話し合いの記録として適切な言葉を考える。(19.7/35.8)

国語B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【話すこと・聞くこと】 ○相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことには課題がある。 2三 スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。(42. 2/57. 6) 【書くこと】 ○相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話すことには課題がある。 2三 スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す。(42. 2/57. 6)	【書くこと】 ○必要な情報を集めるための見通しをもつことには課題がある。 3三 アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容載せることで興味を持ってもらえたと考えた理由を書く。(41. 2/68. 8) 【読むこと】 ○場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解することに課題がある。 1二 地の文にある言葉を発した人物を文章中から抜き出す。(68. 8/84. 1)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	50.0	60.5	○	10.5
国語の勉強は大切だと思いますか。	77.4	88.8	○	11.4
国語の授業内容はよく分かりますか。	64.7	74.9	○	10.2
読書は好きですか。	41.7	69.9	○	28.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか。	36.8	55.6	○	18.8
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。	46.6	65.9	○	19.3
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	86.7	95.9	◇	9.2

※分析した内容

- 国語の授業内容がよく分かる生徒の割合が前年度より増え、全国との差が縮まっている。
- 意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している生徒の割合が前年度より増え、改善されている。
- 自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている生徒の割合が前年度より増え、改善されている。
- 中学生として習得しておくべき言語の知識面で、課題がある。
- 設問の意味は理解しているが、自身の考えを文章表記する力に課題がある。
- 読書に接する機会が全国と比べ課題がある。語彙や表現力を高められるよう読書の機会を増やしたい。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(数学)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べて上位層がやや少なく、中位層がやや多い。

平均正答率(本校 53/泉佐野市 61/大阪府 64/全国 64.6)

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層及び中位層がやや少なく、下位層に少し偏っている。

平均正答率(本校 37/泉佐野市 43/大阪府 46/全国 48.1)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

数学A	特徴がみられた設問
【数と式】 ○分数の乗法の計算が概ねできている。 1(1) $5/9 \times 2/3$ を計算する。(81.5/87.1) ○ある数量が正の数と負の数で表されることを概ね理解している。 1(4) 3月25日を基準にして3月23日を負の数で表す。(81.5/89.4) ○等式を変形することに課題がある。 2(4) 等式 $x + 4y = 1$ を y について解く。(39.5/56.1) 【図形】 ○平行移動した図形をかくことが概ねできている。 4(2) $\triangle ABC$ を、点Aから点Pに移すように平行移動した図形をかく。(81.5/90.6) ○平行四辺形になるための条件の理解に課題がある。 7(2) 与えられた方法で作図された四角形が、いつでも平行四辺形になることの根拠となる事柄を選ぶ。(35.0/49.1)	【関数】 ○関数の意味を理解することに課題がある。 9 長方形の縦の長さとの面積の関係を、「・・・は・・・の関数である」という形で表現する。(11.0/20.6) ○与えられた反比例の表において、比例定数の理解に課題がある。 10(3) 反比例の表から比例定数を求める。(27.0/34.4) 【資料の活用】 ○範囲の意味の理解に課題がある。 14(1) 反復横とびの記録の範囲を求める。(18.0/28.6) ○ある階級の相対度数を求めることに課題がある。 14(2) 6月1日から30日までの記録を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める。(28.0/45.5) ○簡単な場合について、確率を求めることに課題がある。 15(2) 赤玉3個、白玉2個から玉を1つ取り出し、それが赤玉である確率を求める。(61.5/78.3)

数学B	特 徴 が み ら れ た 設 問
【数と式】 ○与えられた説明の筋道を読み取り，事象を数学的に表現することに課題がある。 2(2) 六角形をn個並べて6本ずつ囲んだときに，2回数えているストローをnを用いた式で表す。(25. 6/44. 1) 【図形】 ○与えられた模様について，図形の移動に着目して観察し，対称性を的確に捉えることに課題がある。 1(3) 与えられた模様となるような万華鏡を作りたいときに，その基となる正三角形の模様を選ぶ。(37. 7/52. 8)	【関数】 ○数学的な表現を事象に即して解釈し，的確に処理することに課題がある。 3(3) 与えられた式から，aの変域に対応するbの変域を求める。(34. 2/43. 2) 【資料の活用】 ○資料から必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。 5(1) 1週間の総運動時間が420分のとき，含まれる階級の度数を求める。(64. 3/79. 3)

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	50.0	55.4	◇	5.4
数学の勉強は大切だと思いますか	75.0	81.1	◇	6.1
数学の授業の内容はよく分かりますか	70.1	69.4		0.7
数学の問題の解き方がわからないときは，諦めずにいろいろな方法を考えますか	61.7	73.5	○	11.8
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	34.8	45.3	○	10.5
数学の授業で公式やきまりを習うとき，その根拠を理解するようにしていますか	58.9	72.1	○	13.2
今回の数学の問題について，解答や言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，最後まで解答を書こうと努力しましたか	84.3	93.3	◇	9.0

※分析した内容

- 数学の授業の内容がよく分かる生徒の割合が全国を上回っている。
- 図形領域の問題では，本校と全国(公立)との正答率の差が10%以上の差がついているものが多い。
- 2つの負の数の和は負の数になることや，円錐が回転体としてどのように構成されているかなどの知識・理解に課題がある。
- 本校と大阪府との正答率の差，本校と全国との正答率の差では全体的に本校が下回っていることが課題である。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(生徒質問紙より)

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

また, それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し, それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で, 特徴的な項目を列挙した。さらに, 下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本 校 < 本 校 回 答 率 / 全 国 回 答 率 >
【家庭生活の様子】	○同じくらいの時刻に寝ている割合は, 全国を下回っている。	○毎日, 同じくらいの時刻に寝ている。 <66.2/75.6>
	○普段, 1日当たり2時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしている割合は, 全国を上回っている。	○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビやビデオ・DVDを見たり, 聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間, テレビゲームをする時間は除く) 「2時間以上」 <52.9/49.1>
	○普段, 1日当たり2時間以上ゲームをしたり, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしたりする割合は, 全国を上回っている。	○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか 「2時間以上」 <45.6/37.6>
		○普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) 「2時間以上」 <45.6/32.2>
	○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている割合は, 全国を下回っているが, 約束したことを守っている割合は上回っている。	○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか <18.6/34.0>
		○携帯電話やスマートフォンの使い方について, 家の人と約束したことを守っていますか <53.0/50.6>
	○地域や社会で起こっている問題やでき事に関心がある割合やボランティア活動に参加したことがある割合は全国を下回っている。	○地域や社会で起こっている問題やでき事に関心がありますか <37.8/59.2>
		○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか 「参加したことがある」 <35.8/49.7>

本校の取組み

◎これまでの取組み

スクールエンパワメント加配を活用して5年となり、その間、5つの重点課題(①基礎学力の向上 ②家庭学習の定着 ③学力調査の分析による三中の課題 ④教師間における課題の共有 ⑤各教科の目標標準評価についての研究)を設け、校内研修の充実(研究授業も含む)を図ってきた。

三年前よりメロディーチャイムを導入し、チャイム着席等の授業規律の徹底において顕著な成果が得られている。また、これまでの様々な取組を踏まえて、三中のめざす授業づくりを『授業 三中スタイル』に集約し共通理解に努めている。

学力向上委員会を核にして各分掌と連携しながら、毎年、各学期に行う教職員や生徒を対象にしたアンケートや全国学力学習状況調査及びチャレンジテストの結果を分析し、実態把握と課題の明確化及び、その改善に取り組んできた。

自ら学び取る生徒を育てる授業づくり 『授業 三中スタイル』

1. めあてを板書し、生徒の動機づけをする授業
2. いきいき活動する場面がある授業(個人作業やペアワークなど)
3. 考える場面がある授業
4. 静かに自分を振り返る、振り返り活動がある授業
5. ユニバーサルデザインの視点による授業設計

○『授業 三中スタイル』における授業改善の重点取組

- ① 「めあて」に対応した「振り返り」
- ② 生徒がアクティブに学習する場面(考える・書く・発表する・話し合う・ペアやグループ活動)を充実させる。
- ③ 表現する(書く)力、及び計算力の育成
 - ・ 4年間の授業づくりの取組を冊子にまとめた。

○授業規律に関して、生徒指導部と連携して周知徹底を図っている。

「授業の受け方・大切にしたい9つのこと」及び授業規律重点3項目と教職員間の申し合わせ事項

○指導と評価の一体化をめざした授業づくりの工夫

- ・ 「平成29年度 目標標準評価規準の9教科一覧及び、家庭学習の手引き」の作成。
- ・ 評価の仕方や評価方法の周知。また、家庭学習、特に復習の仕方等の説明。

○少人数習熟度別指導

- ・ 加配教員を活用し、2年生の英語科と数学科、3年生の英語科で少人数習熟度別指導を行っている。

○放課後学習：学習支援の実施。

- ・ 市のまなびんぐサポート事業を活用し、週2回、3年生の希望者に対して英語科と数学科の自学自習のサポートを行っている。
- ・ 定期テスト前には、放課後学習会を開催している。
- ・ 長期休業中に、補充学習に取り組んでいる。

○家庭学習の定着：「家庭での宿題、復習などの自学自習」のシステム化。

- ・ 「平成29年度 目標標準評価規準の9教科一覧及び、家庭学習の手引き」の配布。
- ・ 全学年で「中学生の生活・学習ノート」を使って、朝学習とリンクさせて、自学自習に取り組んでいる。

- ・全学年で週末宿題を課し、休日の家庭学習の定着につなげている。

○通信の発行

- ・生徒向けに通信「風がふく」を発行し、授業の受け方や勉強の仕方などの学習面や家庭学習等の意識づけを行っている。
- ・教職員向けに通信「エンパワメントニュース」を発行し、取組の紹介やアンケート、学力調査の結果分析の共有し、校内研修のまとめ等を掲載して共通理解を図っている。

○生徒会や各種委員会との連携

- ・文化委員会と副委員長が連携し、全校一斉漢字小テスト実施している。
- ・文化委員会が図書室の整備と読書活動推進の啓発を行っている。

○校内研修 6月 1年生対象の基礎学力調査の結果分析とその課題

授業づくり【教師対象及び生徒対象アンケート結果分析】

7月 身に付けたい力「相手に分かりやすく表現する・書く力、標準的なレベルの計算力」の指導とテストでの評価について～定期テスト記述式の出題に関する考察～

8月 子どもたちの学力の向上ために ～ＡＳ校としてすべきこと～（講師招聘）
チャレンジの結果分析から課題の共有とその改善

11月 研究授業と協議（講師招聘）

◎これからの取組み

○『授業 三中スタイル』における授業改善の重点取組みの推進

○校内授業研究の実施 2月 研究授業と協議（講師招聘）

○授業におけるめあてと振り返り活動の実践状況の交流とその改善。

○教職員対象授業アンケート及び生徒対象学習アンケートの実施と分析結果の活用。

12月 2学期の各種アンケート実施と結果分析

3月 3学期の各種アンケート実施と結果分析

○少人数習熟度別指導について、生徒対象アンケートの3回実施（6月、11月、2月）と取り組みの検証。

○平成29年度全国学力・学習状況調査、及び1年・2年・3年チャレンジテストの結果分析の活用。また、生徒にも結果の一部を紹介し、学習や家庭生活の在り方の方向性を示す。

11月 全国学力・学習状況調査の結果分析の共有と授業改善

3月 1年・2年チャレンジテストの結果分析と共有と授業改善

○家庭学習の定着の課題に対して

- ・「中学生の生活・学習ノート」を使った自学自習の取組を活性化させる。
- ・生徒や保護者に通信「風がふく」などを使って家庭学習の大切さ等を情報提供し改善に努める。